

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- ◆「話すこと・聞くこと」
 - ・ ほぼ同程度である。
- ▼「書くこと」
 - ・ 下回っている。
- ◆「読むこと」
 - ・ ほぼ同程度である。
- ▼「言語事項」
 - ・ 下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- ▼「話すこと・聞くこと」
 - ・ 下回っている。
- ▼「書くこと」
 - ・ 下回っている。
- ▼「読むこと」
 - ・ 下回っている。

- 自分の想像したことを物語に表現しするために、文章全体の構成の効果を考えること。
- 相手や場面に応じて適切に敬語を使うこと。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うこと。
- 計画的に話し合うために、司会の役割を捉えること。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

- 読者に期待をもって読み進めてもらえるような構成について知り、読者が期待感をもって読み進められるような工夫について指導する。
- 学校行事など、保護者や地域と関わる活動の際に、案内の手紙をかくなど、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れるように指導する。
- 学習した漢字を、繰り返し書いて練習させたり、様々な場面で実際に使用させたりするなど、計画的に指導したり、自主学習で取り組ませたりする。
- 自分の考えをまとめるために、相手の意見と自分の意見との共通点や相違点を整理することを事例を示しながら、筋道を立てて整理できるように指導する。
- 推薦する文章を書く活動において、興味・関心に応じた題材を設定し、目的や相手を明確にして主体的に取り組むように指導する。
- 様々な伝記を揃え、一人一人が興味関心に応じて選書できるような環境を設定する。

小学校
国語

記号の意味

(△) 上回っている

ほぼ同程度

(▼) 下回っている

(◇) やや上回っている +3ポイント

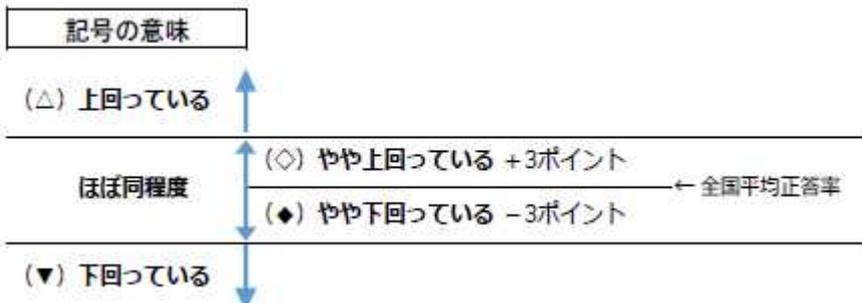
(◆) やや下回っている -3ポイント

← 全国平均正答率

【平成30年度 全国学力学習状況調査 算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼「数と計算」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下回っている。 ▼「量と測定」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下回っている。 ▼「図形」 <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 ▼「数量関係」 <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼「数と計算」 <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 ◆「量と測定」 <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 ◆「図形」 <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 ▼「数量関係」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小数の除法の意味について理解していること。 ● 180° や 360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることができること。 ● 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できること。 ● 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができること。 ● 棒グラフや帯グラフから読み取ったことを基に、適切に判断すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図や数直線などを用いて、数量の関係を的確に捉え、立式できるように指導する。 ○ 角の大きさの見当を付けて、どの角の大きさを測定すると良いのかを捉えさせるようにする。 ○ 縦・横・高さの三要素がどのように表されているか、図と関連付けて捉えたり、ある点を基点にして、三要素を数を用いて表すことができたりにするように指導する。 ○ どのような目的でグラフを読み取ったかを明確にし、その目的に応じた資料を集めて分類整理したり、それを表やグラフなどに分かりやすく表現したり、特徴を調べたり、読み取ったりする指導の充

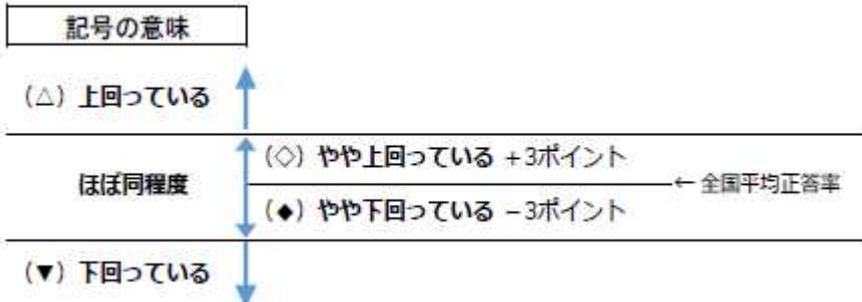
小学校
算数



【平成30年度 全国学力学習状況調査 理科】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>▼「物質」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 <p>▼「エネルギー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 <p>▼「生命」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やや下回っている。 <p>▼「地球」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できること。 ●乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できること。 ●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。 ●土地の浸食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習の内容や生活経験と関連付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えられるような活動の充実を図る。 ○学んだことをものづくりへ適用できるようにするために、目的や獲得した知識をどのように活用するのかを明らかにするとともに、目的に合ったものかどうか検証する場を設ける。 ○人がどのようにして体を動かしているかということを表現する手段として、実際に腕が曲がる仕組みを筋肉の様子を関連付けて考え、模型を用いて説明する場を設ける。 ○実験の方法の妥当性や得られる結果の見通しなどを、児童同士で検討する場面を設定したり、その内容を発表したりする場を設ける。

小学校 理科



－ 62個の回答から見える本校(6年生)の特徴 －

生活面の質問事項から

＜肯定的な回答割合が
全国と比べて多い質問＞

- 毎日、同じくらいの時刻に寝て、起きている。
- 学校のきまりを守っている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 朝食を毎日とっている。

＜肯定的な回答割合が
全国と比べて少ない質問＞

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。

学習面の質問事項から

＜肯定的な回答割合が
全国と比べて多い質問＞

- 読書が好きで、読書の時間が長い。
- 新聞を読んでいる児童が多い。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている。
- 理科の勉強が好きなので、授業の内容をよく理解していたり、自然の中で遊んだり、観察したりする児童が多い。

＜肯定的な回答割合が
全国と比べて少ない質問＞

- 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えること。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか。

＜改善の方向性＞

○本校児童の特徴として、学校で好きな授業がある、読書が好きであることが分かりました。年度の初めに配付しました、「まほうのかいわ」を基に、家庭での学習習慣の定着を図ることで、より確かな学力を子どもたちに身に付けさせていきます。

○今後も「まほうのかいわ」を生かして、学校とご家庭が協力して家庭学習の習慣化を図りましょう。